

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

会 報

第5号 (2010年4月)

目 次 CONTENTS

・ 2009年度事業報告	2
・ 第3回デモンストレーション部会報告	6
・ 第4回デモンストレーション部会報告	7
・ 第5回デモンストレーション部会報告	8
・ 第10回こどものためのジオ・カーニバル参加報告	9
・ こどものためのジオ・カーニバルに参加して	11
・ 平成21年度会計報告	12
・ 会員動向	14
・ お願い	14

2009年度事業報告書

I 事業期間

2009年 4月 1日 ～ 2010年 3月 31日

II 事業の成果

第10回こどものためのジオカーニバル（21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム）に「液状化現象実験～目で見るとの動き～」で参画した。子供たちに地盤の挙動に対する知識を伝達し科学技術の振興を図る活動を行った。また、ビオトープ関連の事業活動を推進した。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) ジオ・カーニバル出展

【内 容】液状化現象実験

【実施場所】大阪市立科学館

【実施日時】2009年11月7日～8日

【事業の対象者】一般市民

【収 入】15,000円

【支 出】20,000円

(2) 各種情報提供サービスに関する事業

【内 容】広報活動(会報、ホームページ)

【実施日時】通年

【事業の対象者】会員、一般市民

【収 入】なし

【支 出】50,000円

(3) 研究会参加(おおさかATCグリーンエコプラザ主催)

【内 容】水・土壌汚染研究部会

【実施場所】おおさかATCグリーンエコプラザ内ビオトーププラザ

【実施日時】通年

【収 入】なし

【支 出】年会費 12,000円

(4) コンサルタント事業

【内 容】意見書作成(2件)(依頼者:不動産会社、建設コンサルタント)

解析・報告書作成(2件)(依頼者:分析会社、建設コンサルタント)

照査業務(1件)(依頼者:測量会社)

コンサルタント(1件)(依頼者:調査会社)

【実施日時】 通年

【収 入】 1,161,970 円

【支 出】 611,490 円

IV 社員総会の開催状況

(1) 名 称：平成 20 年度通常総会

日 時：2009 年 4 月 4 日 10:00 ～ 11:30

場 所：大阪駅前第 2 ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：24 名（委任状出席者 14 名）

議案内容：第 1 号議案 平成 20 年度年度事業報告

平成 20 年度の実施してきた事業活動について報告した。

第 2 号議案 平成 20 年度財産目録・貸借対照表・収支計算報告 書

平成 20 年度 財産目録、貸借対照表、収支計算書報告を
示し説明した上で、承認された。

第 3 号議案 平成 21 年度事業計画

平成 21 年度の事業計画について報告し、その内容について承認された。

V 理事会の開催状況

(1) 名 称：理事会

日 時：2009 年 7 月 10 日 10:25 ～ 12:10

場 所：大阪駅前第 2 ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：10 名(委任状出席者 2 名含む)

議案内容：第 1 号議案 ジオ・カーニバル出展について

11 月 7 日 8 日に実施される第 10 階ジオ・カーニバルの内容について説明し承認された。

第 2 号議案 住吉大社北神苑プロジェクトについて

住吉大社からの依頼で境内の北神苑の整備計画を実施することになったことについて説明した。

本件の今後の対応についての案を全員に諮ったところ、
全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第 3 号議案 その他事業について

これまで実施してきた事業について報告し承認された。

第 4 号議案 来年度の理事の構成について

NPO の活動を積極的にできる体制を整えるために来年度の理事構成について説明し、理事の 2 名増員および副理事長 1 名増員について承認された。

(2) 名 称：理事会

日 時：2010年1月23日 10:05～12:25

場 所：大阪駅前第2ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：10名（委任状出席者1名）

議案内容：第1号議案 事業活動の報酬について

今年度は前年度に比べて多くの事業活動があり活動に際しての報酬を決めておく必要があることを説明し、条件や金額について承認された。

第2号議案 住吉大社北神苑整備の照査について

照査の担当者およびその内容について説明し承認された。

第3号議案 NEDO 競争的資金獲得に向けた議論

競争的資金獲得に向けて調査したが今回当NPOが申請できる案件はなかったことが説明し承認された。

第4号議案 今後の活動について

平成21年度の通常総会は4月中銃に開催することで承認された。

また、来年度ジオ・カーニバルで『目で見ると土の浄化作用』を実施することが承認された。

(VI) 部会の開催状況

(1) デモンストレーション部会（第3～5回）

・第3回デモンストレーション部会

日 時：2009年6月15日 14:00～16:00

場 所：自然環境オフィス

出席者数：2名

議案内容：ジオ・カーニバル参加に向けての実施方法についての会議

・第4回デモンストレーション部会

日 時：2009年9月3日 14:00～16:30

場 所：自然環境オフィス

出席者数：5名

議案内容：ジオ・カーニバルの実施手法についての検討会議

・第5回デモンストレーション部会

日 時：2009年10月13日 13:00～15:00

場 所：自然環境オフィス

出席者数：4名

議案内容：ジオ・カーニバルのポスターについての検討会議

(2) 住吉大社北神苑プロジェクト実行委員会

・第1回実行委員会

日 時：2009年6月23日

場 所：大阪市立大学文化交流センター

出席者数：4名

議案内容：プロジェクトを推進していく上での役割分担を決定した。

・第2回実行委員会

日 時：2009年7月30日

場 所：大阪市立大学文化交流センター

出席者数：2名

議案内容：井戸工事における見積もりの妥当性について検討。

・第3回実行委員会

日 時：2009年8月6日

場 所：大阪市立大学文化交流センター

出席者数：4名

議案内容：NPOとしての役割を決定し住吉大社に伝える。

・第4回実行委員会

日 時：2009年10月8日

場 所：大阪市立大学文化交流センター

出席者数：4名

議案内容：今後の設計業務に関する検討。

第3回デモンストレーション部会報告

専務理事 載 忠希

部会名称：デモンストレーション部会

実施日時：2009年6月15日 PM 2:00～4:00

場 所：自然環境オフィス

目 的：ジオ・カーニバル参加に向けての実施方法についての会議

参加者：載忠希、柴山元彦

①ジオ・カーニバルへの出展エントリーの承認を受け取る。

ジオ・カーニバル事務局より以下のメールを5月21日に受信した。

「ジオ・カーニバル企画委員会事務局の和田です。 第10回「こどものためのジオ・カーニバル」への出展エントリー、まことにありがとうございました。4月、5月の企画委員会にて、検討させていただいた結果11月の ジオ・カーニバルへの出展をお願いすることになりました。よろしく願い申しあげます。また締切りから決定、通知までに大変時間がかかりましたことをお詫び申しあげます。」

②今後の実施に向けた手法について検討を行った。

対象人数は1回当たり5人程度とする。1日当たり20回程度の演示とする。使用するペットボトルは写真に示したうちで中央のものが最適と判断した。



次回理事会で会員に当ペットボトルの収集の協力依頼を行う。

第4回デモンストレーション部会報告

専務理事 載 忠希

部会名称：デモンストレーション部会

実施日時：2009年9月3日 PM 2:00～4:30

場 所：自然環境オフィス

目 的：ジオ・カーニバルの実施手法についての検討会議

参加者：載忠希、柴山元彦、中川康一、中島載雄、和田昌康

①ジオ・カーニバルへの出展までの準備について。

- ・ポスター作成に関しては中島載雄氏、和田昌康氏が担当する。完成予定は概ね10月中旬とする。
- ・1クール15分とし、子供に分かりやすい説明等をその時間内に行う。
- ・ペットボトルはモンマ工業㈱に注文する。
- ・9月27日に開催されるジオ・カーニバル出展者打ち合わせは載忠希が代表者として出席する。
- ・上記の打ち合わせにより今後のスケジュールについて詳細に検討する。場合によっては次回再度部会を開催する。

②開催当日（11月7日、8日）の担当者。

NPOを代表して載忠希、中島載雄氏、和田昌康氏の3名が担当する。尚、大阪教育大学の学生スタッフを2名要望する。

③その他

当日は中川理事長、柴山理事もNPOとは別メニューでセミナーやブースで参加する。

第5回デモンストレーション部会報告

専務理事 載 忠希

部会名称：デモンストレーション部会

実施日時：2009年10月13日 PM 1:00～3:00

場 所：自然環境オフィス

目 的：ジオ・カーニバルのポスターについての検討会議

参加者：載忠希、柴山元彦、中島載雄、和田昌康

① ジオ・カーニバルへの出展までの準備について。

- ・9月27日に開催されるジオ・カーニバル出展者打ち合わせは内容を載忠希が説明し開催日当日の重要事項を話した。
- ・ポスター作成に関しては中島載雄氏、和田昌康氏がそれぞれ作成したものを持参した。子供に対して見た目で分かりやすくするため字をできるだけ少なくして絵を多用する方がいいとの結論となった。和田氏が中心となって完成させる。なお、印刷に関しては中島氏が行う。完成10月中旬とする。
- ・1クール約15分とし、子供に分かりやすい説明等を口頭でするだけでなく紙で張り出すこともひつようであるためこのポスターを中島氏が作製することとなった。
- ・今後はメールでお互いに連絡を取り合い準備していく。

②開催当日（11月7日、8日）の担当者。

NPOを代表して載忠希、中島載雄氏、和田昌康氏の3名が担当する。尚、大阪教育大学の学生スタッフを2名要望する。

③その他

来年のジオ・カーニバル開催に向けて今後何かいいアイデアを中島氏、和田氏が中心となって考えていく。

第10回こどものためのジオ・カーニバル 参加報告

2009年11月7日・8日に大阪市立科学館で開催された第10回ジオ・カーニバルに出展しました。出展内容は『液状化現象実験～目で見える土の動き～』です。

以下に当日の様態を紹介します。

【実験用具一式】

材料のガラスビーズ2種類とカラーサンド、ペットボトル、押しピン、輪ゴムそれに水の準備完了です。

お客さんを待ちます。



【初めてのお客さん】

小学5年生の男の子です。液状化現象のことを良く知っていました。驚きです。理科に非常に興味を持っているみたいでした。このような小学生、中学生がどんどん増えれば幸いです。

一緒に来ていたお父さんよりも良く知っていました。お父さんも子供が隣のブース(柴山理事の自然環境オフィス)で恐竜の模型を作っている間に自分も作らせてもらえないかと当ブースを訪れ、実験装置を作製しました。親子で楽しんでもらえました。



【大人の参加】

我々のブースを訪れたお客さんは大人と子供の割合がほぼ1:1でした。

開始間もないころは大人のお客さんが圧倒的に多く『こどものため』と違っていました。

特に、他の出展ブースの人や小学校、中学校等の先生方が多く集まりました。



【液状化現象の説明】

デモンストレーション用の大きいペットボトルには押しピンと乾電池が入っています。横を叩くと乾電池は沈み押しピンは浮き上がってきました。

みんな大喜びです。難しい言葉で説明する必要はありません。「百聞は一見にしかず」。大人も子供もみんな感激します。





【真剣な様子】

今度は子供が実際にペットボトルの横を叩きます。先ほどの現象が再現しました。何度見ても感激です。

さあいよいよ自分で実験道具の作製にかかります。



【子供のお客さんが続々と参加】

大人に代って子供たちが続々と参加してくれました。みんな自分たちの液状化実験道具を自分の手で作ります。

興味津々でガラスビーズをペットボトルに入れていきます。入れる際には紙をうまく丸めて作製した手製のロートを使用します。

こぼさないように注意して3種類の粉を入れます。それから押しピンをいれペットボトルに水を満杯入れ最後にペットボトルに輪ゴムをかけます。



【実験装置完成】

さあ、オリジナルの実験装置が完成です。皆さんそれぞれ何回も実験してください。お忘れのないようにお願いいたします。

昼ごはんを食べている間に無くしてしまった子供がもう一度作らせて欲しいとやってきました。また、誰か他の子供が持っているのを見た子供が欲しくなったのでしょうか、しかし、子供はセミナーの時間なので、代わりにお母さんが2本くださいと注文です。売り物ではないのですがその勢いに負けてサンプル用のものを差し上げました。

訪れてくれたお客さんは160人です。材料は2日目（8日）の午後2時でなくなってしまいました。後から他の人の評判を聞いて訪れてきた人たちにはまことに申し訳ないことをしました。

第10回ジオ・カーニバルに参加して

保居 健太 (ヤスイ ケンタ)・中学3年生／兵庫県

昨年11月8日(日)に大阪市立科学館で催された、「21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム ジオ・カーニバル」に家族で参加しました。

当日会場では、恐竜を紙で作ったり、液状化現象の実験、台風のメカニズム、月球儀を作ったりする色々なコーナーがあり、理科が好きな僕にはとても興味深かったです。

僕は1995年の「阪神・淡路大震災」の年に淡路島で生まれたので、その時の被害で液状化現象という言葉聞いたことがあり、特に液状化現象の実験コーナーはとても興味を持ちました。実際に液状化を見たことがない僕にもわかりやすく、実験用のペットボトルを持ち帰ることができたので、後日友達にも見せました。

それに、地震発生メカニズムから液状化までを見せてくれるセミナーにも参加したので、とても理解しやすかったです。

またこのような内容のイベントがあれば、ぜひ参加したいと思います。

平成21年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境NET

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		
入会金収入	10,000	
正会員会費収入	150,000	
賛助会員会費収入	160,000	320,000
2 事業収入		
コンサルタント・解析事業収入		1,161,970
3 雑収入		
受取利息		286
経常収入合計		1,482,256
II 経常支出の部		
1 事業費		
通信費	6,860	
事務用品費	9,089	
消耗品費	0	
会議費	880	
賃貸料	0	
支払手数料	2,624	
租税公課	0	
旅費交通費	88,140	
雑費	12,100	
諸会費	12,000	
外注費	303,350	
支払報酬	198,000	
同支払源泉	22,000	655,043
2 管理費		
給料手当	465,600	
同支払源泉	14,400	480,000
経常支出合計		1,135,043
経常収支差額		347,213

III その他資金収入の部			
その他資金収入の部合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出の部合計			0
当期収支差額			347,213
前期繰越収支差額			812,652
次期繰越収支差額			1,159,865
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	347,213		
2 負債減少額	0		
増加額合計		347,213	
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額	0		
2 負債増加	0		
減少額合計		0	
当期正味財産増加額		347,213	
前期繰越正味財産額		812,652	
当期正味財産合計		1,159,865	

会員動向

(平成22年4月1日現在)

正会員 21名
賛助会員 8団体

入会順

株式会社 日さく 西日本支社
株式会社 日開調査設計コンサルタント
株式会社 エコ・アース
株式会社 東京ソイルリサーチ関西支店
株式会社 田岡化学分析センター
中央開発株式会社
原建材興業株式会社
萬力調査株式会社

お願い

【その1】

地盤・地下水環境 NET では、趣旨に賛同いただける会員を募集しております。お知り合いの方に、是非お知らせください。

なお、入会方法は、下記にお問い合わせください。

電話 072-235-3555

http://www.jck-net.org/06_00_entry.html

【その2】

当会報に掲載する記事を募集いたします。報告、技術紹介、書評、エッセイなど、地盤・地下水環境に関する事項でしたら、何でも結構ですので、お送りください。

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

〒599-8123 大阪府堺市東区北野田 575 番地 1

Tel&Fax 072-235-3555

URL <http://www.jck-net.org/>